石田　秀博　先生

先生のプロフィール

【出身地】
大阪府三日市町
【専攻】
民事訴訟法(判例百選を執筆)
【近年(2~3 年)の担当科目】
民事訴訟法、民事執行法
【座右の銘】
忠恕の心
【私の十八番】
食べることと歌うこと（あくまでも主観）

【先生の研究内容、また、その魅力について】
民事訴訟における裁判官と当事者の役割分担です。刑訴と違って地味ですが、民訴は人々の身近な問題を扱うわけですから、どのような審理がなされるかについて興味を持ったのがきっかけです。民事訴訟の審理は、原則は当事者主義ですが、近年は裁判官の能動性も高まっているので、いかにバランスをとるかに興味があります。
【民事訴訟法の初学者に向けて】
なかなか一回ですべては理解しにくいところがあるので、あきらめずに、するめをかむ気持ちで取り組んでください。
【講義するに当たって心掛けていること】
少しでも具体的な話をして、理解の一助になればと思います。あとは主観的に、地味に、明るく、楽しい授業を目指していますが、実際は、真夏でも涼感たっぷりの授業です。
【ゼミ生の特徴】
勉強以外でも気さくに話してくれる印象があります。
【今後、ゼミをどうしたいか】
まじめに、明るく、ひたむきにやっていきたいです
【大学教員になって感じたこと】
特にありませんが、思ったより大変でした。
【学生のうちに経験しておくべきことはありますか？】
一般論として、何かに打ち込んだり、ひたむきに取り組むことを学んでほしいと思います。
【先生が学生時代に勉強以外で力をいれていたことは何ですか？】

サークル活動です（自分でサークルを立ち上げました)。
【先生が学生時代に失敗したことや後悔したことは何ですか？】
特にありませんが、酔っ払って電車の中で暴れたことくらいです。
【先生が現代の大学生だったらやってみたいことは？】
一言、勉強です。
【先生のおすすめの本はありますか？】
皆さんが読まれる対象ではないでしょうが、小林信彦という作家の本が好きでした。
【先生の現在の趣味は何ですか？】
寝ることと、休むことと、安静にすることです。
【学生に向けて一言】
明るく、前向きに、ひたむきに一日一日過ごしてください。

★　ゼミの実態！（2024 年度ゼミ生 17 名 M10 名 W7 名）

★進路(4 年 14 名）地方公務員 4 名、銀行・メーカー・IT 各 2 名、大学院 1 名など

★　　石田先生のトリセツ

優しく、とても面白く、法学部の年配の先生方の中でも特に関わりやすい方です。
授業中に、分からない点を生徒に投げ掛けてくれる場面も多く、また、ギャグなどで笑わせてくれるため、民事訴訟法を嫌厭している人でも楽しく学べると思います。
飲み会なども開催されるため、ゼミ内での交流も多いです。

日々や休暇中の課題

【日々の準備、課題】
年 4 回の発表とレポート
【長期休暇課題】
なし

活動内容

クオーター毎にゼミのメンバー2～3 人で先生が用意してくれたテーマ、事例問題について発表する機会があります。
分からない点はその都度先生が説明してくださります。

★ゼミ生からの声★
先生にもっと早くから出会いたかった！そう思うくらい生徒思いである先生です。先生はカラオケが好きなのでよくゼミ生と一緒に行きます。ゼミ生とはとても仲良くなれる機会になり、他のゼミよりも仲がよい印象です。(2025 年卒ゼミ生)